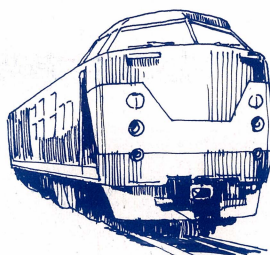


RAILWAY JOURNAL 鉄道ジャーナル

1977・4 NO.122 Vol.11 NO.4

- 昭和52年 2月20日印刷
- 昭和52年4月1日発行
- 編集・発行者 竹島紀元
- 編集スタッフ
塚本雅啓／松尾定行／宮原正和
- アートディレクト 岡田徹也
- 発行所
(株)鉄道ジャーナル社
〒102 東京都千代田区飯田橋4-8-6
日産ビル 電話03(264)1891・1892
振替口座 東京 9-82820
- 印刷所 凸版印刷株式会社



国鉄の長年の悲願であった運賃・料金値上げは実現したが、その後の利用状況を見ると前途は予想以上にけわしい。鉄道の運賃・料金の適正化を図ることは大切であるが、値上げそのものには賛成でも火の車の国鉄の「お家の事情」だけで割り切ったかに見える大幅な値上げと最近の姿勢には、納得できない人も多いようだ。赤字解消の負担を利用者にだけ押しつけることなく、政府への強い説得と部内のきびしい合理化に努力することが必要であり、同時に真の意味でのサービス向上が望まれる。

値上げをすればお得意さんに改善を約束し、いっそうのサービスにつとめるのが社会の常識なのに、そうした動きや姿勢が当局にも現場職員にも見られないのは理解しかねる。「鉄道の使命は輸送だ」というのなら、それでよい。それなら商社まがいの派手な宣伝や中途はんばなサービスなどやめ、毅然として「国の動脈」に徹すべきだ。それこそ鉄道の真のサービスというものである。昨年10月号の「サービス」特集から一歩進めて、再度この問題に取り組んでみた。

1977-4 もくじ

- 7 レールウェイ・レビュー 「一枚のキップから」…?
- 8 ニュース・ファイル(国鉄・民鉄・海外鉄道の動き)
- 14 車両基地(国鉄動力車の新製・改造・転属・廃車)

特集●鉄道のサービスを考える(続)

特別企画 乗車効率264%の縮図!

- 15 〔1部〕 赤い動脈
- 27 〔2部〕 中央線午前8時・53km・通勤電車51本
- 34 〔3部〕 しろがねの富士が輝くとき

——鉄道ジャーナル取材班／RGG／永崎祐之——

- 47 鉄道のサービス その向上と改善 松尾定行
- 51 駅とインフォメーション・サービス 種村直樹／小野純一

鉄道のサービスとは?

- 61 1.各私鉄にみる「サービス」の基本と特色
- 66 2.国鉄サービス課長に聞く
- 68 3.読者はこう考える
ドキュメント★列車追跡⑭
- 71 名鉄6000系 運用と設備のサービス
吉川文夫／荒川好夫／編集部
- 84 世界の鉄道 サービスお国ぶり拝見 木村一男

ライバル決戦④

- 90 君よ知るや南のレーサーたち(後-1) 野村 董
- 95 トップ・アングル
- 99 レールファン・ノートから②⑩ 鉄道史の散歩 本島三良
- ★レールウェイ・トピックス
- 115 新形式気動車キハ40形・キハ47形 編集部
- 116 車両とともに30年(4) 田邊幸夫
- 121 ヨーロッパの鉄道と列車の旅(37) イギリスの鉄道⑧
山之内秀一郎
- 135 機関車意外誌 ●謎の機関車を追って(前) 小熊米雄
- ブルー・トレイン

◆ワイドレンズ(100)◆映画会「帰ってきた蒸気機関車」/鉄道友の会だより(101)
◆魚眼/ズームレンズ(102)◆新聞記事ざっくばらん/新刊紹介(103)◆“蒸気機関車大競争”始末記(104)◆タブレット(104)◆複氏のご批判に答える(106)◆ワイド版こちらジャーナル編集室(108)◆R Jクイズ/乗務員室/次号予告(110)

特別付録 国鉄キハ40形・キハ47形 形式図(P111~114折込)

表紙写真／赤い動脈(新宿駅の中央線通勤電車) カメラ・塚本雅啓

特大号 特価600円
〒60円